

3. 八木節の歌詞は場所によってちがう？

八木節の歌詞は、他の地方のおどりの歌とちがって、歌詞が何通りもあります。それもそのはず、歌詞は7.7調で作れば、だれでも好きに作ってよいのです。だから、無限に作れます。タイプとしては、

①歴史上の有名人の物語 ②地方の観光名所や名物の紹介

①のタイプは大体決まっているようですが、②のタイプだとかなりの数あります。「九小八木節音頭」も②のタイプです。

新九小八木節音頭*

作詞 神音路 一二三

1 ハマー*

ご来場なる	みなさん方に	ひらにごめんを	こうむりまして。
花のふたいで	八木節音頭	郷土自慢を	読み上げまする。
元はしろうと	学童なれば	文句ちがいや	調子のはずれ。
許しなされば	読み上げまするが	おおいさね。	

2 ハマー*

お国じまんは	数々あれど	わたらせ 渡瀬村で	じまん 自慢のものは。
矢場の流れと	渡良瀬川よ	早川田河岸に	大船小舟。
集い集いて	荷物がおどる	人馬にぎやか	あふれる笑顔。
今も運輸で	さかんなまちよ	おおいさね。	

3 ハマー*

雲龍寺の	山門くぐりやア	田中正造の	ねむりし所。
裏水を	けがした銅山	許すまじと	戦う男。
天皇へいかに	書いた手紙は	自然愛する	言葉にあふれ。
今もわれらに	手本を示す	おおいさね。	

4 ハマー*

渡瀬地区の	パワースポット	おあしたくさん	赤城の神社。
安産きがんは	おみちの地蔵	石尊どうろうに	願いをかけりや。
雨があるある	お米が実る	三薬師は	病魔退散。
教育地蔵は	学業成就だ	おおいさね。	

5 ハマー*

今日はめでたい	運動会よ	ゆれる花がさ	はやしにのって。
おどりそろえは	心もはずむ	ぱつりぱつりと	語ってきたが。
ちょうど時間に	あいなりまして	またの機会に	希望をのせて。
さあさ渡瀬	立てようよ伸ばそうよ	おおいさね	

九小は独自に八木節の歌詞を作ってもらいました。九小自慢の一つです。